

福島空港のあゆみ

福島空港は、須賀川市と石川郡玉川村にまたがる阿武隈山系の丘陵地に、平成5年3月20日、県管理の第三種空港(滑走路長2,000m)として開港しました。

さらに、将来の国内線需要の増加や国際化に向け、大型航空機が就航可能な滑走路を整備するため、滑走路長2,500m延長工事を行って平成12年7月13日に全面供用を開始しました。

福島空港は、開港当初は札幌便、名古屋便、大阪便の3路線でスタートしましたがその後、福島空港の国際化も進展し、平成11年6月に中国(上海)と韓国(ソウル)との間に国際定期路線が開設されました。また、平成25年3月20日には開港20周年を迎えることができました。

現在、国内2路線(札幌、大阪)、※国際路線(上海、ソウル)と合わせて4路線で運航しています。また、チャーター便も多くの人に利用されており、香港や台湾からの旅行者も増えてきています。

[※東日本大震災の影響により運休中]



南西側より望む

- 昭和52年12月 「福島県長期総合計画」を策定し、この中で「航空運輸の需要増大に対処し関係施設の設置を検討する」とこととされた。
- 昭和55年10月 空港適地選定に着手
- 昭和57年 2月 1日 福島空港の候補地区を「須賀川東地区」に決定
- 昭和61年 6月 13日 福島空港の飛行場設置許可を申請
- 9月 20日 航空法第38条に基づく福島空港の設置許可
- 9月 25日 空港法第40条に基づく福島空港の告示
- 10月 11日 福島空港の政令指定
- 11月 28日 福島空港の整備を盛り込んだ第5次空港整備五箇年計画が閣議で決定
- 昭和62年 4月 1日 「福島県空港建設事務所」を開設
- 昭和63年 9月 14日 福島空港起工式
- 平成 2年 4月 26日 福島空港ビル株式会社設立
- 平成 3年11月 29日 「福島空港の滑走路2,500mへの延長」を盛り込んだ第6次空港整備五箇年計画が閣議決定
- 平成 4年10月 1日 「東京航空局福島空港出張所」、「福島地方気象台福島空港出張所」、「福島空港管理事務所」を開設
- 平成 5年 2月 1日 福島空港管理事務所を福島空港ターミナルビル内に移転
- 2月 4日 供用開始告示
- 3月 20日 福島空港開港
札幌、名古屋(平成15年3月路線休止)、大阪路線開設
- 平成 5年 5月 1日 福岡路線開設(平成18年3月路線休止)
- 平成 6年 6月 1日 函館路線開設(平成14年11月路線休止)
- 9月 4日 沖縄路線開設(平成21年1月路線休止)

- 平成 7年 3月 16日 福島空港の飛行場施設変更許可(滑走路2,500m)を申請
- 6月 22日 福島空港の飛行場施設変更の許可
- 6月 29日 航空法第40条に基づく福島空港の告示
- 7月 22日 帯広便開設(平成13年3月路線休止)
- 11月 13日 福島空港滑走路2,500m延長工事の起工式
- 平成 9年 8月 15日 日中航空当局間協議において福島空港を中国の新規乗り入れ地点とすることを合意。
- 平成10年 6月 17日 国際線旅客ターミナル着工
- 平成11年 1月 21日 日韓航空当局間協議において新規路線として福島～ソウル路線を追加することを合意
- 5月 31日 国際線旅客ターミナルビル開館
- 6月 17日 中国(上海)との国際定期路線開設
- 6月 22日 韓国(ソウル)との国際定期路線開設
- 平成12年 4月 1日 「福島県福島空港管理事務所」と「福島県空港建設事務所」を統合。「福島県福島空港事務所」となる。
- 7月 13日 福島空港2,500m滑走路全面供用開始
- 平成13年 4月 1日 広島路線開設(平成14年3月路線休止)
- 平成15年 3月 20日 開港10周年
- 平成17年 2月 17日 名古屋路線再開(平成19年11月路線休止)
- 平成20年 3月 13日 取付誘導路(訓練用)供用開始
- 6月 5日 滑走路警戒灯供用開始
- 平成21年 2月 1日 日本航空撤退(大阪路線、沖縄路線)
- 平成23年 3月 11日 東日本大震災
- 平成24年 2月 19日 利用者数1,000万人突破
- 平成25年 3月 20日 開港20周年